


絹本着色仏涅槃図



指定区分	県指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちやくしよくぶつねはんず
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成31年3月8日
解説	涅槃に入った釈迦の周囲に入滅前後の出来事を描いた構図。 上方には日輪と月輪が描かれ、下方には象や獅子といった一般的に描写される動物に加えて、海老や蛤も描かれていて珍しい。 県内に残る南北朝時代に遡る仏涅槃図の優品として貴重。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(絵画)
ぶんかざいめい (文化財名)	絹本著色仏涅槃図
よみかた	けんぽんちやくしよくぶつねはんず
しよざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していたひ (指定した日)	平成31年3月8日
せつめい	<p>涅槃(悟りの世界)に入った釈迦(しゃか)の周りに、釈迦が亡くなる前後のできごとを描(えが)いた構図になっています。上の方には日輪(にちりん)と月輪(がちりん)が描かれ、下の方には象(ぞう)や獅子(しし)といった動物に加えて、海老(えび)や蛤(はまぐり)も描かれているところが珍しいです。</p> <p>県内に残る南北朝時代(1336~1392)の仏涅槃図として貴重です。</p>